

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

暑さ厳しい日々が続いておりますが、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、全国各地で悲惨な交通死亡事故が相次いで発生しておりますが、本県の交通事故死者数は6月末で84名となっており、2位の千葉県より3名多く、上半期ワースト1位となってしまいました。

過去を振り返って見ますと、本県の交通死亡者数は、昭和44年の912人をピークに、その後は増減を繰り返しながらも大局的には減少傾向で推移し、昨年の死亡者数は213人となったものの、県が策定した第9次交通安全計画（平成23年～平成27年）の計画目標であった死者数185人以下、死傷者数55,000人以下はいずれも達成することが出来ず、特に死者数においては、平成15年から平成27年まで連続して全国ワースト1位という残念な結果となりました。

そうした事から、愛知県では国が新たに策定した基本計画（死者数2,500人以下、死傷者数50万人以下）を踏まえ、平成32年までに死者数155人以下、死傷者数39,000人以下を目標とする第10次愛知県交通安全計画を本年6月に策定いたしました。

今後はこの第10次計画に基づき、交通事故死亡者の半数以上を占める高齢者や子供の安全確保、歩行者及び自転車の安全確保、更には生活道路における安全確保などに努めてまいります。

また、情報技術を用いて人と車と道路を結び、交通事故や渋滞等の解決を図る新たな交通システム（ITS）を活用し、運転者の危険認知の遅れや、操作ミスによる事故の未然防止に向けた技術開発がここ数年で飛躍的に進んだ事から、これらの技術の積極的活用も今回の計画には掲げられておりますので、ITSの環境整備に向けて、官民一体となって取り組んで行けるよう努めてまいります。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 